

第34回日本軟骨代謝学会学術集会開催報告

The 34th Annual Meeting of the Japanese Society of Cartilage Metabolism

会長 尾崎 敏文 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 整形外科学)

Toshifumi Ozaki (Department of Orthopaedic Surgery, Faculty of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University)

2022年2月18日(金)～19日(土)の2日間、第34回日本軟骨代謝学会学術集会を開催致しました。COVID-19オミクロン株の感染拡大のため完全WEB開催といたしました。

本学会のテーマは「なめらかな軟骨のサイエンス」といたしました。軟骨の滑らかさをイメージさせるとともに、研究の滑らかさ、共同研究の滑らかさなど、現在の軟骨代謝研究において「滑らか」ということが重要ではないかと考えております。近年、医学研究では連携が重視されるようになってきております。軟骨代謝研究の領域におきましても、各研究者が切磋琢磨しながら連携することにより、重要な役割を果たしていけることを祈念しております。

本大会では特別講演として、岡山大学学術研究院医歯薬学域 歯学部先端領域研究センターの滝川正春先生に「軟骨代謝研究の過去40年と将来展望」と題して講演して頂きました。招待講演では、Scripps ResearchのMartin K. Lotz先生に「Transcription factors as therapeutic targets for osteoarthritis」と題したご講

演を頂きました。また、教育講演として、名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション科の西田佳弘先生に「軟骨性腫瘍の病態と治療」と題して講演して頂きました。シンポジウムでは、「Chondrogenesis 研究の最前線：今後のOA治療ターゲットを求めて」と題して、東京医科歯科大学医歯学総合研究科 システム発生・再生医学分野の浅原弘嗣先生、広島大学病院 未来医療センターの味八木茂先生、岡山大学学術研究院医歯薬学域 口腔生化学分野の久保田聡先生、大阪大学大学院医学系研究科 生化学・分子生物学の妻木範行先生にご講演いただきました。いずれの先生方も軟骨代謝研究の発展に多大なる貢献を果たされた研究者であり、今後の軟骨代謝研究の進め方を考慮するうえで、とても有意義なご講演でした。その他、ランチョンセミナーとして2つのご講演を頂きました。WEB開催にもかかわらず、236名の参加者とともに軟骨代謝研究に関する活発な討論を行うことができ、充実した2日間となりました。

最後になりましたが、開催に際しまして、準備・運営に携わっていただきました岡山大学整形外科のスタッフ、大学院生、医局秘書の方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



学会ポスター



学会スタッフ

2022年3月3日受稿
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
電話：086-235-7273 Fax：086-223-9727
E-mail: tozaki@md.okayama-u.ac.jp